



厚生労働省岩手労働局発表  
平成 29 年 7 月 28 日（金）

【照会先】  
岩手労働局職業安定部職業安定課  
課長 中村 悟 雄  
課長補佐 佐々木 裕 智  
電話 019-604-3004

報道関係者 各位

## 平成 28 年度ハローワークのマッチング機能に関する 業務の総合評価の結果等について公表します！

厚生労働省では、ハローワークの機能強化を図るため従来の P D C A サイクルによる目標管理を拡充し、ハローワークのマッチング機能の総合評価を平成 27 年度から行っていたところですが、岩手労働局（局長 久古谷敏行）管内のハローワークにおける平成 28 年度の総合評価の結果がまとめ、10 所中、「良好な成果」が 5 所、「標準的な成果」が 5 所となりました（詳細は別紙参照。）。

29 年度においても、28 年度の評価結果を踏まえ、この総合評価の本来の目的であるハローワークの業務改善につなげ、機能強化に引き続き取り組みます。

### 【参考 1】

参考 1-1 は各ハローワークの 28 年度当初に設定した目標値一覧であり、参考 1-2 は 28 年度のこの取り組みにかかる各ハローワークの所長による分析等となっています。

### 【参考 2】

29 年度についても同様の取り組みを行っており、その具体的な内容として参考 2-1 は各ハローワークの 29 年度当初に設定した目標値一覧であり、参考 2-2 は設定した目標値のうち「主要指標」（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の 3 指標）にかかる各ハローワークの事業計画の概要となっています。

### 【参考 3】

平成 26 年 6 月 24 日に『「日本再興戦略」改訂 2014～未来への挑戦～』が閣議決定され、外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現に向け、官民協働による外部労働市場の求人・求職マッチング機能の強化を図ることになったことから、平成 27 年度よりハローワークの機能強化のための取り組みを行っており、その一環として今般、総合評価の結果等を公表するものです（参考 3 参照。）。

# 平成28年度における総合評価結果

別紙

岩手労働局職業安定部職業安定課

ハローワークの名称	総合評価の評語
ハローワーク 盛岡	標準的な成果
ハローワーク 釜石	良好な成果
ハローワーク 宮古	標準的な成果
ハローワーク 花巻	良好な成果
ハローワーク 一関	良好な成果
ハローワーク 水沢	標準的な成果
ハローワーク 北上	良好な成果
ハローワーク 大船渡	標準的な成果
ハローワーク 二戸	良好な成果
ハローワーク 久慈	標準的な成果

## 【全国と岩手のハローワークの類型ごとの状況】

類型	総合評価の評語	類型ごとの状況	
		全国(428所)	岩手局(10所)
類型1	非常に良好な成果	3	0
類型2	良好な成果	208	5
類型3	標準的な成果	217	5
類型4	成果向上のため計画的な取組みが必要	0	0

# 平成28年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標値一覧

岩手労働局職業安定部職業安定課

所名	所重点指標 選択数	主要指標 (必須)			補助指標 (必須)			所重点指標 (選択)													
		全国統一指標			全国統一指標			全国統一指標										局独自指標			
		就職 件数 (常用)	充足 件数 (常用)	雇用 保険 受給者 の早期 再就職 件数	紹介 成功率	求人 に 対 する 紹介 率	求職者 に 対 する 紹介 率	生活 保護 受給者 等 の 就 職 件 数	障害 者 の 就 職 件 数	学卒 ジョ ブ サポ ーター の 支 援 に よ る 正 社 員 就 職 件 数	ハロー ワーク の 職 業 紹 介 に よ り、 正 社 員 に 結 び つ い た フ リ ー タ ー 等 の 件 数	公的 職 業 訓 練 の 修 了 3 ヶ 月 後 の 就 職 件 数	マザー ズ ハ ロー ワ ーク 事 業 に お け る 担 当 者 制 に よ る 就 職 支 援 を 受 け た 重 点 支 援 対 象 者 の 就 職 率	正社員 求 人 数	正社員 就 職 件 数	介護・ 看護・ 保育 分野 の 就 職 件 数	建設 分野 の 就 職 件 数	生涯 現 役 支 援 窓 口 で の 65 歳 以 上 の 就 職 率	求人 支 援 員 に か か る 開 拓 求 人 の 充 足 数	新規 高 卒 者 の 県 内 就 職 割 合	障害 者 の 就 職 件 数 に 対 する 定 着 指 導 割 合
岩手局		30,736	29,346	6,795	30.2	25.2	27.3	840	1,183	2,652	3,088	1,172	87.5	46,998	12,562	3,200	1,350	50.0	7,741	64.1	51.2
盛岡所	7	9,559	10,234	2,277	23.1	27.3	25.6	385	-	1,811	-	362	-	16,121	3,883	-	-	-	1,652	-	20.0
釜石所	3	1,988	1,672	390	46.9	20.5	26.9	45	-	-	195	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.4
宮古所	3	2,157	1,844	453	49.0	20.1	28.3	-	-	-	156	-	87.5	-	888	-	-	-	-	-	-
花巻所	4	2,836	2,443	510	32.8	24.0	30.9	40	-	-	-	121	-	3,696	-	-	-	-	-	-	92.5
一関所	4	3,214	2,713	681	30.4	25.6	27.9	85	-	-	267	-	87.5	-	-	-	-	-	-	-	40.0
水沢所	4	3,145	2,968	843	29.1	29.5	28.5	-	100	-	-	-	-	4,831	1,384	-	-	-	-	62.9	-
北上所	4	2,724	2,860	652	28.6	24.5	28.0	85	-	-	288	-	-	-	-	-	-	-	-	62.6	195.5
大船渡所	3	2,097	1,856	336	45.8	18.5	28.5	-	-	-	-	-	-	-	787	180	-	-	686	-	-
二戸所	3	1,399	1,247	302	38.6	28.7	30.2	40	-	-	126	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久慈所	3	1,617	1,509	351	42.1	24.4	27.8	-	-	-	-	-	-	-	629	-	-	-	-	50.0	35.0

※ 「所重点指標」にあつては、所の規模により選択数が指定されている。

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目において、「正社員求人確保」及び「正社員就職のための取組み」の目標達成を最重要と考え特に重点的に進めることとし、ハローワーク盛岡雇用情報及びキャリアアップ助成金リーフレットを活用し、正社員求人の提出について事業所訪問による求人勧奨を行いました。併せて、雇用対策協議会において、出席者へハローワーク盛岡の取組みを周知し、自治体及び関係機関の方に対しても事業所へ機会ある場で広く周知するよう要請しました。また、求職者に対しては、職務経歴書の作成についてキャリア形成を主体的にアピールできるようにキャリア方式の記載方法とすることを勧め、応募先への理解を促すための取組みとして事業所情報等の収集及び就職支援セミナーの開催による「求人票の見方」の説明等により事業所理解及び求人票の理解を促すよう取り組みました。結果として、平成28年度実績は、正社員就職件数目標3,883件に対し実績3,714件（目標達成率96%）となり目標値に対し169件（4%）及ばなかったものの正社員求人数目標は、16,121件に対し実績16,692件（目標達成率104%）となり目標を達成することが出来ました。

なお、求職者への支援として、初回認定日等の早期の段階で新規求人1週間分の中から希望する求人及び資格等が該当する求人の情報を、来所勧奨文を添えて送付し応募勧奨を積極的に図ったところ、相談件数・紹介件数・就職件数の増加が図られました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の利用者アンケートでは、事業所の情報を提供してほしいとの要望や応募書類の記載内容等の指導をしてほしいとの要望が多かったため、ミニ面接会を広く周知し情報収集の機会を多くするよう促すとともに事業所画像情報を収集し求人事業所情報の充実を図りました。また、応募書類の記載等については、セミナーの開催案内をフロア内及び階段の踊場スペースを利用して広く周知した他、付属施設で行うセミナー等の周知を併せて行いました。更には、待ち時間の課題をあげる意見もあったことからボイスコールの導入を行い、利用者の待機時間の人数等見える化を行いました。事業所からは、本人の希望も分かるが応募者の適性等の把握をした紹介の要望等があったことから、相談過程での課題等を解消し紹介に結びつけられるよう求職者担当制の導入を図り紹介を行いました。

### (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少傾向が続く中で新規登録者の増加が就職件数を押し上げていくことから、新規求職者の確保及び求職者の掘り起し等を図るため平成 28 年度に行った公共交通機関を利用した広報活動及び公共交通機関の駅舎内ラックを活用した求人情報の情報提供を引き続き行い、広くハローワーク盛岡の利用を案内する取り組みを継続します。

### (4) その他業務運営についての分析等

管内の主要な産業はサービス業、小売・卸売業であることから、この方面に関係する商工会議所及び中小企業団体中央会等の関係団体並びに地方自治体との連携を図り情報収集に努める他、各種のイベント等の開催に協力を求めながら引き続き求人開拓に取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する紹 介率	生活保護 受給者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター 支援による 正社員就 職件数	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	求人者支 援員に係 る開拓求 人の充足 件数	障害者の就 職件数に対 する定着指 導割合
実績	9,148	9,620	2,186	94.0%	94.4%	24.8%	25.1%	24.4%	309	2,041	468	16,692	3,714	1,858	55.1%
目標	9,559	10,234	2,277	90.0%	90.0%	23.1%	27.3%	25.6%	385	1,811	362	16,121	3,883	1,652	51.6%
目標達成率	96%	94%	96.0%	—	—	107%	92%	95%	80%	113%	129%	104%	96%	112%	107%
(参考)過去3年度 平均	10,300	11,230	2,304												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 【求職者担当者制の効果的な実施】

慢性的な人手不足への対応と充足率上昇のため、求職者担当者制を、希望職種別、担当業務別で設定し、補助者も加えることで、支援の機会を増やす取組を行いました。求人充足会議は、求人者支援員と求職者担当者制のメイン担当及び補助者でチームを編成し、事業所訪問や個別求人開拓等を効果的に実施することに努めました。その結果、求職者担当者制の対象者数、相談件数、紹介件数、紹介就職者数のいずれも27年度を上回り、就職数、充足数の目標値を達成しました。

#### 【雇用保険受給者への支援】

雇用保険受給者の早期再就職を図るため、初回認定日セミナーの開始時間前に、「求人PRタイム」を実施し、PRタイム終了後に、個別ブースでの相談コーナーを設置し、早期就職への意識啓発を図りました。参加者からは先入観が払拭され企業のイメージが変わったとの感想が寄せられるなど、啓発的な効果がありました。

#### 【来所勧奨のとりくみ】

求職者が減少傾向にある中、潜在求職者の掘り起しのため、求人情報一覧表を、正社員（職種別）、人手不足分野（建設・福祉）、土日祝日、子育て世代・シニア世代等、対象を区分して作成し、様々な条件や年齢層に対応した情報提供を行うことで注目度を上げるとともに、来所勧奨を図りました。

#### 【地方自治体との連携】

毎月、情報交換会による定期的な情報共有を始め、「建設現場見学会」、「高校生を対象とした企業説明会」等の新規事業を連携して開催しました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ハローワークサービス満足度調査においては、求人者からの回答で、「より多くの紹介を求める」の項目が高い数値を示していたことから、以下について改善を図り、充足可能性を高める工夫をしました。
  - ・ 求職者担当者制を、希望職種別、担当業務別で設定する他、補助者を加えることで、お互いをカバーし合い、支援対象者の拡充やサービスメニューの提供に努めました。
  - ・ 初回認定日セミナー（月4回程度）の開催時間前に、「求人PRタイム」を設定し、雇用保険受給者だけでなく、一般求職者も参加可能とすることで、求職者全体の企業理解につなげるとともに、初回認定日セミナーの待ち時間も有効に活用しました。さらに、企業説明後の個別ブースによる相談コーナーを設けることで、応募しやすい環境づくりをし、窓口誘導も図りました。
  - ・ 職業訓練の受講生の確保が困難となっていることから、「ハロトレコーナー」を設置し、「訓練生の声」として、受講者の体験談やメッセージを掲示することで、職業訓練への関心を高める工夫をして、職業訓練窓口の利用促進を図りました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取り組みについて

- シフト制導入に伴う窓口体制の確保が課題となる中、来所者へのサービス向上と、充足率上昇のために、求職者担当者制と求人充足会議の効率化を図りました。
- 来所勧奨、求職者の掘り起しを図るため、自治体と連携した事業の展開と併せて、一般の方に対して、安定所の取組や雇用失業情勢等の情報について様々な広報活動を検討予定です。また、所内においては、限られたスペースの中、有効な情報提供を進めていきます。

## (4) その他の業務運営についての分析等

- 管内の求職者は減少傾向となっており人手不足が顕著となっています。このような状況下で、釜石市においては、子育て世代を対象とした短時間就職（プチ勤務）への取組を積極的に進めています。受け入れ体制上、企業の対応にも差がありますが、理念は浸透しつつあります。正社員求人確保の推進の他、ワークライフバランスに配慮した求人の確保にも取り組んでいきます。
- 高校生の地元定着と職業意識の醸成を目的として、高校生対象の企業説明会（しごと☆みらいスケッチ）を新たに企画しました。高校生が先輩社員との交流を経ながら、地元企業と仕事理解、職業意識の啓発を図るとともに、企業の情報発信とPR力向上を支援し、参加した生徒・企業を始め、自治体や教諭からも好評を得ました。実施に当たっては、自治体と連携して進めました。引き続き取り組み、地元定着率を高めていきたいと考えています。

- 生活保護受給者等支援事業において、支援対象者の確保と、来所が遠のいている方の窓口来所や新規登録への勧奨につなげるため、新たに、就労準備支援事業所に出向いて支援対象者向けにセミナーを実施しました。
- 障害者の効果的な定着支援を進めるため、定着指導記録簿をあらたに作成するなどして工夫しながら、関係機関と連携して定着指導を図りました。その結果、28年度の障害者の就職件数に対する定着指導割合は、目標を大きく上回りました。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により正 規雇用に結 び付いたフ リーターの 数	障害者の就 職件数に対 する指導割 合		
目標	1,988	1,672	390	90.0%	90.0%	46.9%	20.5%	26.9%	45	195	76		
実績	2,095	1,764	389	98.1%	98.6%	50.7%	20.3%	26.2%	54	286	143		
目標達成率	105%	106%	100%	—	—	108%	99%	97%	120%	147%	187%		
(参考) 過去3年度平均	2,179	1,873	389										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者の減少傾向が続いていることから、独自に「求職者支援プログラム」を企画立案し求職者に対する個別支援を重点的に取り組みました。具体的には、求職者担当者制を軸に各種就職支援ツール（個別相談、多角的グループワークの企画、企業説明会・就職面談会への参加勧奨、来所勧奨型紹介、応募書類の作成支援等）を求職者の態様・希望にあわせ組み合わせるなど、オーダーメイド型の就職支援を行いました。

また、事業所サービスにおいても、建設・介護の人手不足分野では求人担当者制による支援を行ったほか、中規模面談会（5～6社程度）を5回（参加者207人、就職者33人）、ミニ面談会（1～2社程度）を18回（参加者106人、就職者12人）、事業所見学会を5回（6社28人）開催するなど求人充足の支援にも取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、来所者の呼び出し方法についてプライバシー配慮（「名字が珍しいので、名前で呼ばれたくない」）への意見があったことから、実態を確認し、一部名前での呼び出しとなっていた雇用保険の「失業の認定等」においても独自の番号札を作成・活用することで来所者へのプライバシーに配慮した窓口対応となるよう改善を図りました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

就職件数の目標達成率が前年度より4ポイント伸びたものの（H28：91.3%、H27：87.3%）目標を達成していないことから、その結果を踏まえ、平成29年度は求職者への個別支援をより充実させます。具体的には、当所独自で行っている「求職者担当者制」実施要領の見直し（①就職支援ナビをチームリーダーとする3チーム編成、②各チーム月10名の個別支援を目標）や「求職者支援プログラム提案セミナー」実施要領の見直し（①セミナー勧奨対象者を雇用保険受給者・特に給付制限のある者を優先、②セミナー開催を給付制限期間中に求職活動日として設定）などにより、求職者の就職意欲を喚起し早期再就職に結びつく個別支援を積極的に行います。

#### (4) その他業務運営についての分析等

求人・求職者に対する紹介率が目標に達しなかったのは、求人者は若年者や即戦力として有資格者・経験者を求める傾向が強い一方、求職者は中高年齢者の割合が増加するなど求人・求職者の間にミスマッチが生じています。今後もこの傾向は続くものと思われることから、平成29年度は従来からのマッチング対策に加え、職業訓練受講者を中心に「求職公開申込書」の自己PRを活用して「求職人材情報」を作成。それを基に新規求人の開拓や既存求人へのマッチングに取り組みます。

また、新規高卒者の地元就職が平成26年3月をピークに減少していることが地域の課題となっていることから、平成29年度は高校1年生を対象に開催している「高校生しごとメッセ」に管内全高等学校（進学校含む）が参加できるよう関係者との調整を図ります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

### 【マザーズコーナーの取り組み事例】

- 相談員2名による担当者制の相談を実施し、就職までの支援見込みや支援方法について検討している。
- 支援対象者の求職活動を「相談一覧票」に記録し日々進捗状況を把握することにより、重点支援者の就職率は98.4%となっている。
- 一覧表には、就職する際の子供預入等の協力者の有無を把握する項目を設けており、就職支援の際の重要なポイントとなっている。
- プレ相談後の初回相談については、希望職種や勤務時間等の希望条件や子育て等の家庭環境について時間をかけて詳細な確認を行っている。
- プレ相談においては、就労環境が整わない者（保育園等預け先が不明な者）についても希望により求職登録をしてもらい、その後開催する「再就職準備セミナー」の案内や、当コーナーの利用を促す等の求職者掘り起しのベースになっている。

【参考】・新規登録者数 337 人（うち重点支援者 258 人） ・重点就職件数 254 人（就職率 98.4%）

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職に対す る紹介率	紹介により 正規雇用に 結びついた フリーター等 の件数	マザーズ HW 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率	正社員 就職件数		
実績	1,970	1,738	413	95.0%	92.9%	48.7%	19.2%	26.9%	212	98.4%	772		
目標	2,157	1,844	453	90%	90%	49.0%	20.1%	28.3%	156	87.5%	888		
目標達成率	91%	94%	91%	—	—	99%	96%	95%	136%	112%	87%		
(参考)過去3年度平均	2,359	2,130	468										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- 当所管内に職業訓練施設（ポリテクセンター）があり、職業訓練関係業務に積極的に取り組んでいる。ポリテクセンターの定員充足に向けた説明会開催のほか、各種セミナー等にポリテクセンターの職員にも同席してもらい入所案内をしている。
- 障害者雇用率が県平均を大きく下回っているため、幹部職員による雇用率達成指導や未達成企業等に対する障害者のためのミニ面談会の開催など障害者雇用の促進を図り、就職件数も昨年度を4件上回った。
- 求人に占めるパート求人の割合が高いため、正社員求人確保に重点を置いた求人開拓に努めた。年度初めに大型の企業合理化があり雇用保険受給者が増加したことから、合理化離職者対象の面談会を開催するなど、早期再就職支援に努めた。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

特に人手不足が深刻な介護福祉分野や建設分野において、事業所見学と併せた面談会や合同面談会の開催を行う予定。利用者アンケートにより、求職者からの満足度に比べ求人者からの満足度が低かったことから、事業所訪問を積極的に行い、求人者とのコミュニケーションを図った。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者数の減少により求人倍率が高止まりしているため、求職者担当者制の積極的活用や各種セミナーの勧奨により就職者のスキルアップを図り就職件数の増加を図る。また、潜在求職者の掘り起しのため週刊求人情報にミニ面談会の開催案内やハローワークのサービスメニューを掲載してハローワークの利用を呼び掛けている。相談件数は昨年を上回っているものの就職件数が大幅に減少しているため、職業相談から紹介へ繋げるための支援を強化する。

### （4）その他業務運営についての分析等

特になし

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対する紹 介率	求職者に対す る紹介率	生活保護受給者 の就職件数	公的職業訓練 の修了3か月 後の就職件数	正社員求人 数	障害者の就 職件数に対 する定着指 導割合
実績	2,443	2,339	506	96.9%	97.7%	34.3%	21.8%	28.8%	59	187	4,076	163.1%
目標	2,836	2,443	510	90.0%	90.0%	32.8%	24.0%	30.9%	40	121	3,696	92.5%
目標達成率	86%	96%	99%	—	—	105%	91%	93%	148%	155%	110%	176%
(参考)過去3年度平均	2,938	2,706	528									

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所においては、「ミニ面接会・事業所見学会」を特に重点的に進めることとし、ミニ面接会、ミニ事業所見学会を積極的に実施することができました。ミニ面接会は19回実施し、155人が参加、15人を就職に結びつけることができました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査結果において、求職者からは「事業所詳細情報」についての期待度が全国・岩手局の平均を上回ったことから、これまで収集した画像情報（特に、平成28年度に重点的に収集したもの）を積極的に求職者の目に触れる形で提供する方策を検討します。

また、求人者からは、「求人条件設定情報の提供」や「求人記入の助言」に係る期待度が高いことから、求人者への情報提供方法を検討することとしました。具体的には、情報提供ツールとして、関係資料を取り纏めた「求人事業所連絡便」を準備し、求人受理時や相談時において配付することにより、的確に対応できる体制を構築します。

### （3）今後のサービス・業務改善の取り組みについて

事業所情報としての「画像情報」について、事業所の協力を得ながら、「外観」のみではなく、実際の作業風景や製品等についても取り込み、求職者等への積極的な提供に努めることとします。職種別の事業所面談会については、必ずしも満足できる結果ではないものの、人手不足職種の解消に向けた、事業所に対する支援、求職者に対する意識づけや、潜在求職者の掘り起こしのために、一定の成果があったものと思われ、平成29年度においても開催することとしております。

### （4）その他の業務運営についての分析等

高校卒業者の管内就職率が低下傾向にあることから、地元企業の魅力を知ってもらうため、管内市町・商工団体との連携により、「高校3年生を対象とした、高卒求人情報交換会」、「高校2年生を対象とした、高校生未来さがしプロジェクト」を開催したほか、一関市等との共催により「中東北就職ガイダンス」を開催しました。また、管内市町と連携し、マザーズコーナーの出張相談を実施したほか、若者サポートステーション等へ出向いての出張相談（月2回）を実施し、潜在求職者の掘り起こし等を図っております。さらに当所における正社員求人、正

社員就職の割合が全国平均を下回っていることから、平成29年度においては、求人事業主に対する正社員求人化の促進について指導・要請を強化し、目標達成を目指します。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついたフリー ター等の件 数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者に よる就職支 援を受けた 重点支援対 象者の就職 率	障害者の就 職件数に対 する定着指 導割合(%)	
実績	3,071	2,672	690	96.9%	97.0%	34.4%	24.7%	27.4%	92	398	97.8%	82.2%	
目標	3,214	2,713	681	90.0%	90.0%	30.4%	25.6%	27.9%	85	267	87.5%	76.1%	
目標達成率	97%	99%	101%	—	—	113%	97%	102%	108%	149%	112%	108%	
(参考)過去3年度平均	3,285	2,951	672										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職件数」及び「正社員就職件数」を重点的に進めることとし、正社員求人確保、所独自セミナーの開催及び求人説明会・事業所見学会の開催による就職支援を積極的に取り組みました。正社員求人は目標の4,831人を上回る5,101人を確保しました。所独自セミナーは2コース新設で全10コースとなり、年間43回の開催で954人が受講し、受講者からは「分かりやすく参考になった。」「参加してよかった。」などの評価をいただいています。求人説明会・事業所見学会は昨年度の13回を上回る39回開催し、参加者245人中26人を採用に結びつけることができました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果、求人者支援サービスの満足度が14項目中12項目で局平均を下回り、なかでも「支援メニューの周知・案内・説明」の満足度が低かったため、安定所の求人者支援メニューを全て盛り込んだリーフレット「求人充足支援メニュー」を作成し支援メニューの周知に活用しました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野である「医療・介護」及び「保育」分野の求人説明会は、各1回の開催であったため、29年度は「医療・介護」3回、「保育」2回の開催を目標にして多数の参加者を募っていきます。また、所独自セミナー「就活ポイントセミナー」は参加者から好評であったため、継続実施するとともに、随時内容の見直しも検討します。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成28年度は、管内主要産業である自動車製造業を中心として求人が好調で前年度を上回る求人を受理し、正社員求人数は目標を上回りましたが、完成車メーカーの求人を始め正社員以外求人も多く、求人に占める正社員求人割合は前年度の41.5%を下回る40.1%にとどまりました。また、新規求職申込件数が7,015件と663件減少し、在職者割合が約4割の状況であったため、正社員就職件数が目標の1,384件に対し1,218件となりました。今後は引き続き魅力ある正社員求人の確保を図ると共に、正社員求人割合を引き上げ、求職者担当制による来所勧奨型紹介の積極的なマッチングの実施により、正社員就職件数の増加を目指します。

## 2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	新規高卒者の 県内就職 割合
実績	2,745	2,593	686	93.3%	95.5%	32.4%	25.8%	26.8%	104	5,101	1,218	70.8%
目標	3,145	2,968	843	90.0%	90.0%	29.1%	29.5%	28.5%	100	4,831	1,384	62.9%
目標達成率	87%	87%	81%	—	—	111%	87%	94%	104%	106%	88%	113%
(参考)過去3年度平均	3,315	3,133	782									

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、県内で最も求人倍率が高く、多くの求人に対し、いかに求職者を紹介し「紹介件数」と「充足数」に結びつけることができるかが重点項目と考え、所内においては能動的なマッチングに取り組むとともにや正社員求人・人手不足分野職種に限定した求人情報を、週刊求人ニュースとは別に月1回程度発行しました。庁外においては自治体と連携して年6回相談会を開催したほか、週刊求人ニュースの提供場所をショッピングセンター等に増加させるなどの求職者の掘り起しを兼ねた取組み等を進めましたが、「紹介件数」と「充足数」ともに目標の93%の達成となりました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

管内は、県内でも有数の製造業集積地域であることを考慮して、面接を組合わせた事業所見学会を自動車製造関連企業を中心に年間10回ほど開催し、46人の参加を得、3人の就職となりました。また、新規求職者が減少している中で、新規求職者の掘り起しを狙ったショッピングセンターでの就職相談会を実施し10社、29人の求職者の参加者がありましたが、就職には結びつきませんでした。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

管内の人手不足対策として、新規高等学校卒業就職者の管内就職率の向上が求められていることから、平成29年3月に現3年生と管内企業21社との企業情報ガイダンスを実施しました。企業が直接生徒に情報発信できると好評であるため、今年度も引き続き開催し管内就職率の向上を目指しています。

### （4）その他業務運営についての分析等

管内の自治体と雇用対策協定を締結しており、自治体と密接な連携により相談会等を実施しています。また、管内の人手不足解消のため、県内及び隣接している秋田県の実業高校を訪問して管内企業のPRを推し進め、管内企業の応募機会の拡大を図ることとしています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

特になし。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの紹介に より正社員 に結びつい たフリーター 等の件数	新規高卒者 の県内就職 割合	障害者の就 職件数に対 する定着指 導割合	
実績	2,538	2,651	623	95.5%	95.4%	32.0%	21.2%	27.9%	112	274	67.2%	251.1%	
目標	2,724	2,860	652	90.0%	90.0%	28.6%	24.5%	28.0%	85	288	62.6%	195.5%	
目標達成率	93%	93%	96%			112%	87%	100%	132%	95%	107%	128%	
(参考)過去3年度平均	2,856	2,792	629										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、人材不足分野を中心とした就職、充足数値の目標達成を最重要と考え、求人者情報の提供機会の拡大や潜在的求職者の掘り起しのため、事業所見学会や出張相談会などの取組を定期的、継続的に取り組みました。事業所見学会は 8 回開催し、平均参加者は 11 人、うち就職者は 5 人でしたが、参加者からは直接的な求人者情報の収集ができることに評価は高く、これをきっかけに就職した者が 35 人となりました。出張相談会は毎月 1 回、子育てママ支援と自治体の要望による住田町でそれぞれ開催し、利用者 92 人（前年度 38 人）のうち就職者は 23 人（前年度 10 人）となり、利用者や自治体からの継続実施を期待する声が多く、継続的な取り組みにより高い評価と効果を得ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

前年度の利用者アンケートで、求職者評価が求人者評価より低い結果であったことから、丁寧な職業相談と支援メニューの積極的な周知、情報提供を図るため、求職者意向の丁寧な聴取、次に繋がる相談記録の登記、掲示コーナーのレイアウト変更・工夫、週間求人情報への支援メニュー掲載などを実施し、今年度は求人者評価を大きく上回る結果を得ました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

事業所見学会、出張相談を継続的に取り組みますが、事業所見学会は参加者が少ない会が多く、多くの求職者が興味を抱くように見学施設の選定や見学・説明方法の工夫・改善を図ります。また、今年度の利用者アンケートでは、求人者評価が求職者評価を大きく下回る結果となり、慢性的な人材不足の解消に対する行政サービスへの不満の表れであり、求人条件変更や雇用管理改善の提案からフォローアップまでの一連の求人充足支援の強化に取り組めます。

### （4）その他業務運営についての分析等

今年度後半は、震災復興に伴う住宅や商業施設の整備が進み、居住地の移動による一部の求職者ニーズの変動、小売・飲食サービス業求人急増に伴い、求職・求人条件のミスマッチや人材不足分野が拡大し現在も進行しています。次年度（29 年度）は、潜在的求職者の掘り起しと求人充足を意識したマッチング強化を強力に取り組む必要があります。

## 2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に 対する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	求人者支援 員にかかる 開拓求人の 充足件数		
実績	1,817	1,723	369	93.4%	97.5%	43.7%	19.0%	27.6%	705	226	406		
目標	2,097	1,856	336	90.0%	90.0%	45.8%	18.5%	28.5%	787	180	443		
目標達成率	87%	93%	110%	—	—	95%	103%	97%	90%	126%	92%		
(参考)過去3年度平均	2,145	1,998	374										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、特に「就職件数」「生活保護受給者等の就職件数」「公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数」について重点的に取り組みました。

先ず、「就職件数」については、「求職者担当者制」をより積極的に展開することとして、職業相談部門内の正規の職員も含めた機動的な部門体制による運用の実施を図りながら、特に雇用保険受給者については緊要度の高い者や給付制限期間中の者に対する支援や、また、職業訓練受講者に対する支援などをよりきめ細かに実施することで、支援対象者は342人となり、そのうち207人が就職に結びつく結果となり、就職率は60.5%に達しました。

また、雇用保険説明会と初回講習を分離しての開催や無効求職者に対する再登録の案内などの重層的な取り組みについても継続的に実施してきたものの、最終的な目標達成率は92%となり、目標達成には至りませんでした。

次に、「生活保護受給者等の就職件数」については、特に関係機関等との連携強化に重点を置きながら、管内の全市町村が構成員となる「二戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会」を本格的に立ち上げることで、実績が45人となり目標に対する達成率は113%という結果になりました。

そして、「公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数」については、地域の職業訓練実施機関とのより強力な連携関係を維持しながら、訓練の開始時から終了までの期間内において、計画的に応募書類の作成指導や面接指導などを含めた多岐にわたる支援メニューを提供し、個別に実施していくことで、今年度の目標49人に対して実績が73人となり、その目標に対する達成率は149%に達しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果、求人者については95.1%、求職者については96.4%と高い評価になってはいるものの、このアンケートのコメントの中には、窓口対応での「接遇」に関する意見がみられ、改めて、各自に配付をされている「ハローワークサービステキスト」に基づく、研修を実施しました。

また、求人情報提供端末の「就業場所」の画面改修に関する意見・要望もみられたことから、就業場所について、管内4市町村の個別設定を廃止して、新たに「二戸地域」を新設し、「詳細」項目において4市町村を設定することにより、4市町村すべてを一括して閲覧することが可能となるように改めました。

### (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少が見込まれることから、職員・相談員が一丸となって常に利用者の目線で「満足していただけるサービス」を提供し、一人でも多くの就職と一件でも多くの充足に結びつける努力を継続していかねばならないと考えております。

### (4) その他業務運営についての分析等

平成28年度においても、前年度と比較して新規求人数が増加し、新規求職者数は減少するという状況で推移しました。このことから、紹介件数が大きく減少し、就職件数の伸びに繋げることは出来ませんでした。

新年度においては、求人者担当制をより効果的に行いながら、求人相談会（ミニ面接会）や事業所見学会・説明会など、直接・間接に紹介から面接に結びつく形でのイベントを幅広く実施・展開していきたいと考えております。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対 する紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついたフリー ター等の件 数	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数		
実績	1,294	1,159	262	95.1%	96.4%	45.8%	23.9%	27.4%	45	143	73		
目標	1,399	1,247	302	90.0%	90.0%	38.6%	28.7%	30.2%	40	126	49		
目標達成率	92%	93%	87%	—	—	119%	83%	91%	113%	113%	149%		
(参考)過去3年度平均	1,409	1,251	257										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- 主要指標3項目、正社員就職件数、新規高卒者の県内就職割合、障害者の就職件数に対する定着指導割合の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、「事業主訪問」「雇用管理セミナー」「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」などの開催を積極的に推進しました。
- 特に「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」については、求職者の就職意欲喚起も目的に、1年を通じ定期的に行うことができました。所管内の実情を鑑み人手不足な分野である食品製造、建設業、介護等に重点を置き、結果として、「事業所見学会13回（参加者327名・就職件数34件）」「求人説明会7回（参加者102名・就職9件）」「ミニ面接会24回（参加者85名・就職51件）」となり、求職者ニーズに応えることができたと考えています。また、地域自治体との共同開催としたことにより、広報及び運営の連携が強化され、地域労働市場改善に向けた事業の継続拡充を強く求められています。
- また、正社員就職を進めるための良質求人確保対策として、職員全員による計画的な事業所訪問や事業主雇用改善セミナーの開催により、事業主に対し正社員求人のメリット等を伝えることにより正社員求人の増加につながり、更に、求人要件の緩和指導、求職者の視点に立ったわかりやすい仕事の内容欄の記載を徹底することにより、マッチング成功率も向上しました。  
（正社員求人割合40.9%《27年度40.7%》・正社員就職割合36.5%《27年度34.4%》）
- 求職者が減少傾向にある中、求職者担当者制の要領を見直して、常時担当する求職者数並びに就職率目標を新たに設定するなど取り組みを強化しました。
- 新規高卒者の管内就職促進対策では、求人の早期提出依頼を目的に積極的な事業所訪問等を実施した結果、7月までに全体の89.4%が提出されたことにより応募先の選択肢が広がったこと等から、平成29年3月末時点において管内就職割合は43.4%（過去最高）となり、県内就職割合も51.0%（17年ぶりの50%超）となりました。
- 雇用保険受給者の早期再就職促進対策としては、認定日における全員相談を実施すると共に、雇用保険部門と職業紹介部門と連携した所独自の「めざせ！早期再就職セミナー」を計28回開催（参加者190名《27年度153名》）し、早期再就職のメリットや求職者担当者制の活用を呼びかけました。この結果、雇用保険受給者の大幅な減少の中、早期再就職件数は337件となり目標は未達成でありましたが一定の効果が確認されたところです。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

満足度調査の目標達成に向けて接遇研修を積極的に行った他、管理者が窓口における接遇の状況を確認してきました。また、利用者からの意見を伺うため「ご意見箱」を設置し、環境の改善を含めて広く意見を受け入れただけでなく、所内において、サービス改善に係る職員・相談員からの提案を常時受付け、幹部職員の「誰にでも」「いつでも」相談・提案するよう、日々のミーティング時、全体会議など機会を捉えて周知しました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求職者数が減少傾向にある中において、窓口利用勧奨を積極的に進めた結果、平成 28 年下期以降、相談窓口利用者数は上期と比較し上昇がみられたところです。

少人数体制である当所が各業務を効果的に推進していくためには、窓口対応力向上が必須であることから、本取組に更なる工夫を施しながら継続して実施します。

## (4) その他業務運営についての分析等

求職者減少に伴ったマッチング機能の強化策として、求職者担当者制を見直したほか、所独自の早期再就職セミナー、地域自治体と共同で事業所見学会・説明会・面接会を実施した結果、参加した求職者にも好評で、見学会は事業所からもマッチングに効果があると、受入れの強いニーズが見込まれることから、良質求人の確保とともにこれらを継続して取り組んでいくべきものと考えています。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	正社員 就職件数	新規高卒者 の県内就職 割合	障害者の就 職件数に対 する定着指 導割合		
実績	1,513	1,439	337	98.0	100.0	43.9%	22.8%	26.2%	626	51.0%	116.0%		
目標	1,617	1,509	351	90.0	90.0	42.1%	24.4%	27.8%	629	50.0%	76.1%		
目標達成率	94%	95%	96%	—	—	104%	93%	94%	100%	102%	152%		
(参考)過去3年度平均	1,691	1,577	372										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# 平成29年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標値一覧

岩手労働局職業安定部職業安定課

所名	所重点指標選択数	主要指標 (必須)			補助指標 (必須)		所重点指標 (選択)													
		全国統一指標			全国統一指標		全国統一指標													局独自指標
		就職件数 (常用)	充足件数 (常用)	雇用保険受給者の早期再就職件数	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	介護・看護・保育分野の就職件数	建設分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	求人支援員にかかる開拓求人充足数	新規高卒者の県内就職割合	60歳以上の高齢者の就職件数
					*目標値 前年度実績以上	*目標値 前年度実績以上		*目標値 前年度実績以上					※選択必須	※選択必須				*目標値 前年度実績以上	*目標値 前年度実績以上	*目標値 前年度実績以上
岩手局		27,969	27,160	6,572	23.3	26.1	730	1,207	2,549	3,020	1,293	89.4	52,105	11,062	2,900	1,150	62	7,750	66.1	4,041
盛岡所	7	8,893	9,428	2,213	25.1	24.4	352	-	1,820	-	407	89.4	17,988	3,558	-	-	62	-	-	-
釜石所	3	1,982	1,677	387	20.3	26.2	-	-	-	207	-	-	3,159	673	-	-	-	-	-	-
宮古所	3	1,954	1,710	412	19.2	26.9	-	-	-	-	-	89.4	3,431	729	-	-	-	-	-	-
花巻所	4	2,441	2,344	528	21.8	28.8	-	84	-	-	140	-	4,428	978	-	-	-	-	-	-
一関所	4	3,027	2,655	683	24.7	27.4	42	118	-	-	-	-	4,974	1,175	-	-	-	-	-	-
水沢所	4	2,720	2,548	700	25.8	26.8	42	-	-	-	-	89.4	5,437	1,170	-	-	-	-	-	-
北上所	4	2,488	2,612	640	21.2	27.9	42	-	-	-	-	-	5,912	1,075	-	-	-	-	67.6	-
大船渡所	3	1,730	1,650	382	19.0	27.6	42	-	-	-	-	-	3,140	662	-	-	-	-	-	-
二戸所	3	1,214	1,087	281	23.9	27.4	-	-	-	-	62	-	1,670	424	-	-	-	-	-	-
久慈所	3	1,520	1,449	346	22.8	26.2	-	-	-	-	-	-	1,966	618	-	-	-	-	51.0	-

※ 「所重点指標」にあつては、所の規模により選択数が指定されている。

# 平成29年度の総合評価の主要指標にかかる事業計画概要

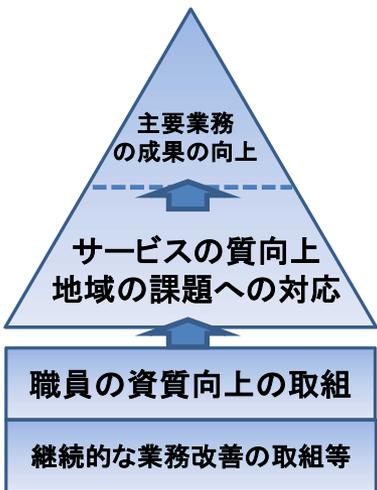
岩手労働局職業安定部職業安定課

ハローワークの名称	就職件数	充足件数	雇用保険受給者の 早期再就職件数
盛岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援セミナーの開催</li> <li>○ミニ面接会の実施</li> <li>○再就職手当の積極的活用による早期就職支援</li> <li>○求人情報提供による応募勧奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足会議の開催</li> <li>○求人担当制による充足件数の向上</li> <li>○企業説明会&amp;ミニ就職面接会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初回認定日の機会に雇用保険受給者への就職支援メニューの紹介及び説明</li> <li>○再就職手当の積極的活用による早期就職支援</li> </ul>
釜石	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正社員求人情報の作成</li> <li>○類型別求職者担当制の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正社員求人情報の作成</li> <li>○類型別求職者担当制の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所独自セミナーの実施(初回認定日セミナー)</li> <li>○求人PRタイムの実施(初回認定日セミナー)</li> <li>○所独自セミナーの実施(ビデオセミナー)</li> </ul>
宮古	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制によるきめ細やかな就職支援</li> <li>○求職者直接参加型の多角的直接交流のグループワークの企画による就職支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業説明会と就職面談会の実施</li> <li>○充足会議によるマッチング精度の確立による充足促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効果的なアンケートの活用及び独自規格のセミナーへの誘導による給付制限者の支給制限期間内の就職支援の充実</li> </ul>
花巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所独自の「就活実践セミナー」、「ビデオセミナー」による再就職支援</li> <li>○求職者担当制によるきめ細かい支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足会議の開催による求人支援</li> <li>○求人事業所画像情報の活用によるマッチング強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定日全員相談と能動的マッチングの実施</li> <li>○初回講習時における再就職手当活用による早期再就職の意欲喚起</li> </ul>
一関	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制の実施による求人情報の提供、応募書類の作成指導、面接指導</li> <li>○ミニ事業所見学会・職種別就職面談会の開催による人手不足分野での就職促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○的確な求人選定による求人者・求職者の検討会議の開催</li> <li>○一部充足求人、印刷枚数の多い求人等応募意欲関心の高い求人専用コーナー掲示周知による早期応募勧奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定日の全員相談の実施</li> <li>○認定日の求人情報提供、緊要度・希望条件の再確認と情報共有</li> <li>○雇用保険受給者の求職者担当者制の積極的実施</li> </ul>
水沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者の求人選択を支援するため、求人説明会及び求人事業所見学会の実施</li> <li>○求職条件をふまえた能動的マッチングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要件緩和と求人のマッチング及び積極的な情報提供</li> <li>○求人充足を支援するため、求人説明会及び求人事業所見学会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援を目的とした、委託セミナー及び所独自セミナーの受講を勧奨し就職意欲の喚起</li> <li>○個別支援担当者による早期再就職支援</li> </ul>
北上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援ナビゲーターによる求職者担当制による就職支援の実施</li> <li>○独自開催セミナーを通じた就職支援の実施</li> <li>○求人充足会議等により選定された求人に対する的確なマッチングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援ナビゲーターによる求職者担当制による就職支援の実施</li> <li>○独自開催セミナーを通じた就職支援の実施</li> <li>○求人充足会議等により選定された求人に対する的確なマッチングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援ナビゲーター(早期再就職支援分)による求職者担当制による就職支援や就職支援セミナーへの受講誘導・受講後の相談を通じた早期再就職支援の実施</li> </ul>
大船渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職相談会、事業所見学会、出張相談の開催</li> <li>○求職者担当者制の推進</li> <li>○求人充足会議の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良質求人の確保</li> <li>○求人担当者制の推進</li> <li>○求人充足会議の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○失業認定日の全員相談</li> <li>○初回講習等各種機会における早期就職、来所相談勧奨</li> <li>○求職者担当者制の推進</li> </ul>
二戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当制の実施により、雇用保険受給者及び一般求職者へ就職に向けた支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足に向けた求人説明会の開催を実施するほか、求人と求職のマッチングの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当制の実施により、雇用保険受給者へ就職に向けた支援の実施</li> </ul>
久慈	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正社員等良質求人の確保のための計画的な事業所訪問</li> <li>○求職者担当者制の積極的な実施</li> <li>○サービスメニューの積極的な周知による窓口勧誘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者を主体とした積極的な求人充足会議の実施</li> <li>○事業所見学会、求人説明会、ミニ面接会の一体的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての認定日における全員相談による再就職支援</li> <li>○局主催就職支援セミナー及び所独自セミナーによる早期再就職支援</li> </ul>

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

## PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り  
就職支援を強化

## ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表  
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。  
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。  


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## 評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
  - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
  - ③ 好事例は全国展開(評価期間終了後)  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

# 総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

## 総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

### 全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

#### (1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

#### (2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

### ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

#### (1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

#### (2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

「日本再興戦略」改訂2014～未来への挑戦～（ハローワーク関係抜粋）  
平成26年6月24日(閣議決定)

2. 雇用制度改革・人材力の強化

2-1. 失業なき労働移動の実現／マッチング機能の強化／多様な働き方の実現

(3)新たに講ずべき具体的施策

iii) 外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現

「企業外でも能力を高め、適職に移動できる社会」を構築するため、国、地方、民間を含めたオールジャパンで円滑な労働移動を実現するための取組を抜本的に強化する。このため、以下のとおり施策を充実させる。

④官民協働による外部労働市場のマッチング機能の強化

ハローワークの機能強化のため、各所ごとのパフォーマンスの比較・公表、意欲を持って取り組む職員が評価される仕組みの構築について、今年度中に具体的な方策の検討を行い、2015年度から実施する。(中略)さらに、ハローワークと地方自治体との連携強化が全国的に進展するよう、ベストプラクティスの整理を進め、普及を図る。